

リョービ株式会社

2018年3月期第2四半期 決算説明会

(証券アナリスト、機関投資家向け)

2017年11月24日

I. トピックス

- A. パワーツール事業に関連する
新設分割会社株式の一部譲渡について P.4
- B. 決算期の変更について P.6

II. 2018年3月期第2四半期 連結業績

- A. 連結業績 P.8
- B. 事業別の業績 P.12

III. 2018年3月期 連結業績予想

- A. 連結業績予想 P.18
- B. 事業別の状況 P.22

I.トピックス

3/31

I -A パワーツール事業に関連する 新設分割会社株式の一部譲渡について

(目的)

1968年よりパワーツールの製造販売を開始。2000年代初めの欧米・豪州における営業譲渡以降は限定的なビジネス展開となっていた。

当社単独での更なる成長と収益拡大は難しいとの考えから、近年グローバルに機械工具事業拡大を図っている京セラグループにおいて事業価値の向上を図ることが適切と判断。

本譲渡で得られる資金等の経営資源については、市場で高い地位を築いている既存事業（ダイカスト、建築用品、印刷機器）に投入し、更なる成長と収益拡大に繋げていく。

4/31

I -A パワーツール事業に関連する 新設分割会社株式の一部譲渡について

(概要)

当社パワーツール事業並びにリョービ販売株式会社の全株式、利優比（大連）机器有限公司の出資持分の66.6%を新設会社（京セラインダストリアルツールズ株式会社）へ継承し、新設会社株式の80%を京セラ株式会社へ譲渡。

新会社設立は2018年1月を予定。

本件取引の実行により、今期の売上高を30億円下方修正。
利益への影響は軽微。

(参考)

パワーツール事業 売上高160億円（2017年3月期）
総資産156億円（2017年3月期末）

5/31

I -B 決算期の変更について

(現在の決算期間)

国内：4月1日～3月31日 海外：1月1日～12月31日

(変更の内容)

国内の決算期間を1月1日～12月31日に変更

来期（経過期間）：国内は2018年4月1日～12月31日の9カ月決算、
海外は12カ月決算

(変更の目的)

1. 経営情報の適時・的確な開示

主力のダイカストにおいて、売上高の過半を海外連結子会社が占めるようになった。海外連結子会社と決算期を統一することで、経営情報の適時・的確な開示を図り、経営の透明性を高める。

2. 連結経営におけるPDCAサイクル管理の効率化

当社グループでの予算編成や業績管理等、事業運営の効率化を図る。

6/31

II.2018年3月期第2四半期 連結業績

7/31

II-A 連結業績

決算のポイント（前期比）

- ダイカスト事業は国内と中国の受注が堅調に推移し増収となったが、米国と英国の減少をカバーできず、全体で減収、減益
- 住建機器事業は増収増益、印刷機器事業は減収の一方、コスト削減により増益
- 経常利益は前期の為替差損(5億円)が、為替差益(1億円)に転じた事や、支払利息の減少(-2億円)等により増益

8/31

II-A 連結業績

単位：億円

	'17/3期上半期 実績	'18/3期上半期		増減理由
		実績	増減	
売上高	1,215	1,191	-23 [-1.9%]	ダイカスト、米英で減少
営業利益	61 (5.1%)	61 (5.1%)	-0 [-0.8%]	
経常利益	58 (4.8%)	66 (5.5%)	8 [13.6%]	前期為替差損→当期為替差益 支払利息減少
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	43 (3.6%)	45 (3.8%)	2 [4.3%]	
配当	5円	5円	-	

為替レート（期中平均）

米ドル	114円	113円	-1円
英ポンド	164円	142円	-22円
中国元	17.4円	16.5円	-0.9円
タイバーツ	3.2円	3.3円	0.1円

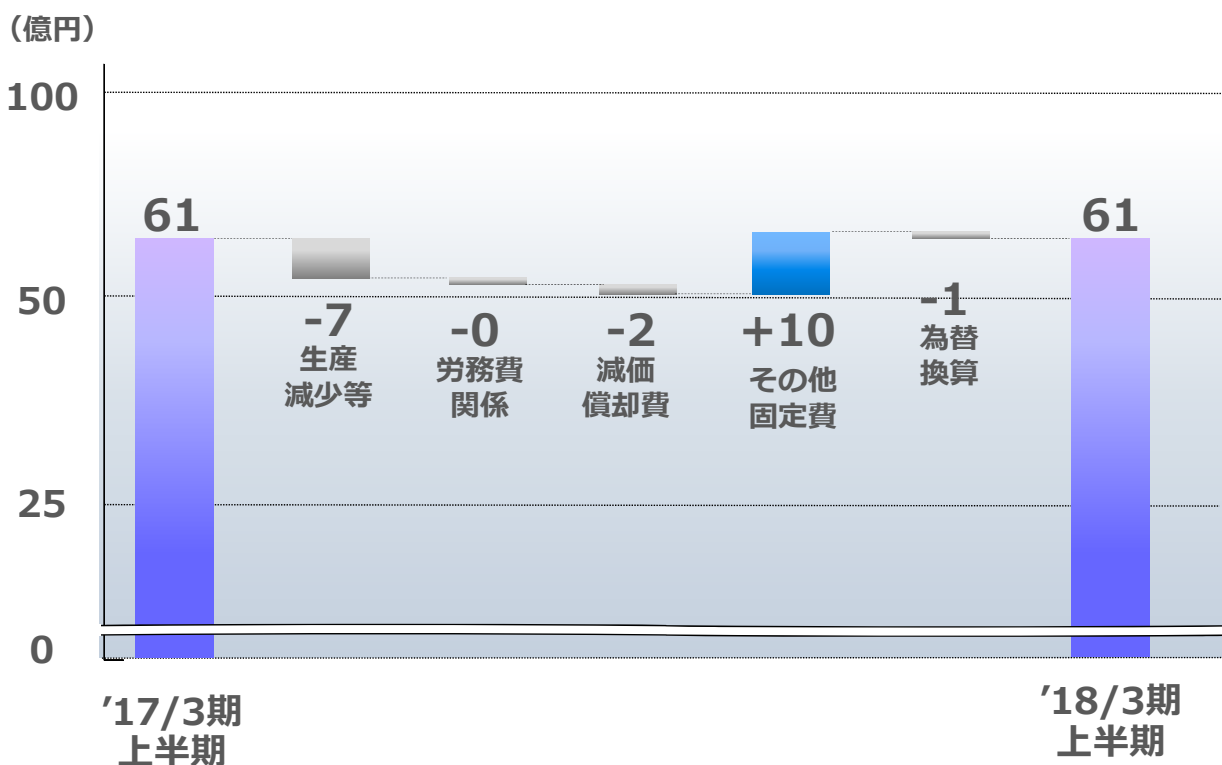
() 内は売上高利益率
[]内は増減率

	'17/3期末 実績	'18/3期上半期末	
		実績	増減
総資産	2,629	2,703	75 [2.8%]
自己資本	1,082	1,117	34 [3.2%]
有利子負債	742	755	13 [1.8%]

9/31

II-A 連結業績

営業利益増減要因(前年同期比)

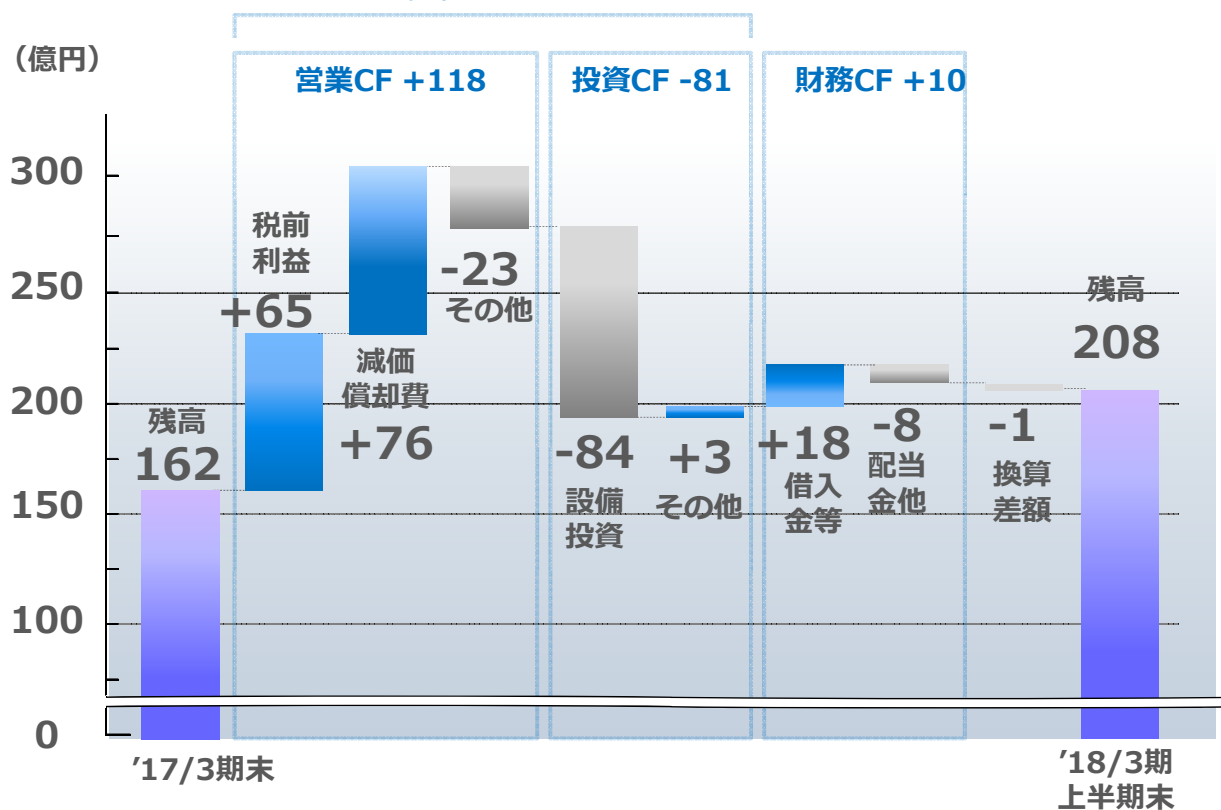


10/31

II-A 連結業績

キャッシュフロー増減

フリーCF +37



11/31

II-B 事業別の業績

単位：億円
 () 内は売上高利益率
 [] 内は増減率

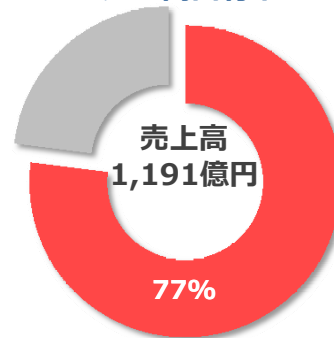
		'17/3期 上半期 実績	'18/3期 上半期 実績	増減
ダイカスト	売上高	948	922	-26 [-2.7%]
	営業利益	52 (5.5%)	45 (4.9%)	-7 [-13.3%]
住建機器	売上高	134	138	4 [3.3%]
	営業利益	6 (4.8%)	10 (7.5%)	4 [62.3%]
印刷機器	売上高	132	130	-2 [-1.5%]
	営業利益	3 (2.2%)	5 (4.1%)	2 [80.8%]

12/31

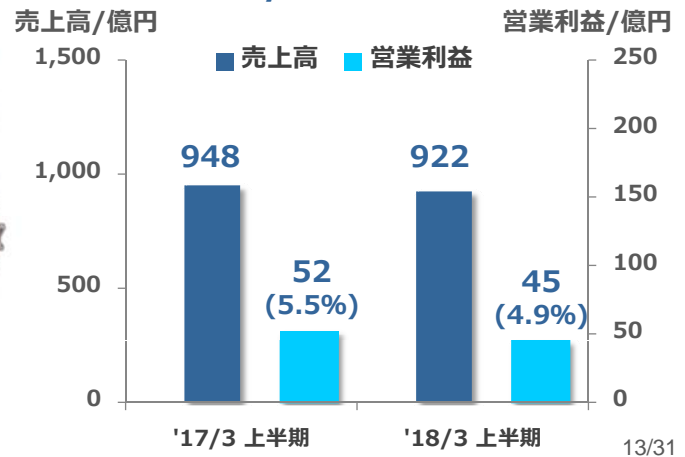
II-B 事業別の業績 **ダイカスト事業**

- 国内と中国の受注は堅調に推移し、増収となったが、米国と英国の減少をカバーできず、全体で減収、減益

売上高占有率



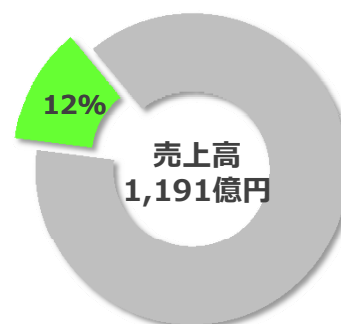
売上高/営業利益 (率)



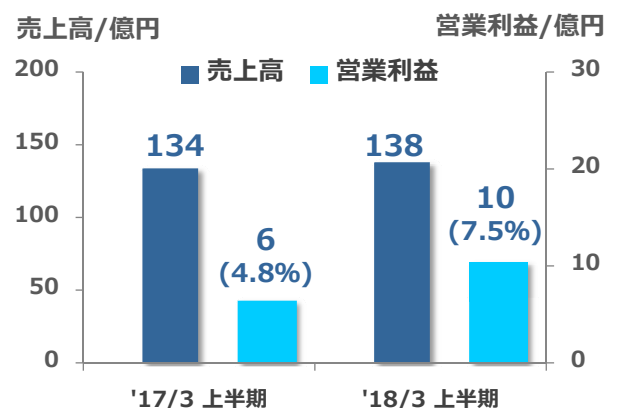
II-B 事業別の業績 **住建機器事業**

- 増収、増益
- パワーツール事業は、国内は苦戦したが、南アフリカ等への輸出増により増収
- 建築用品事業は、国内ビル向けで増収
- 中国元安及び増収により、増益

売上高占有率

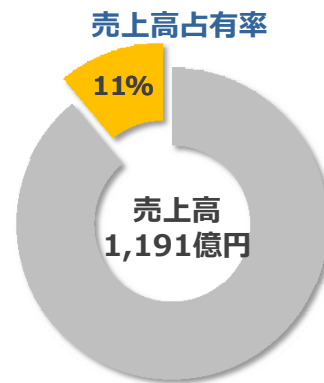


売上高/営業利益 (率)

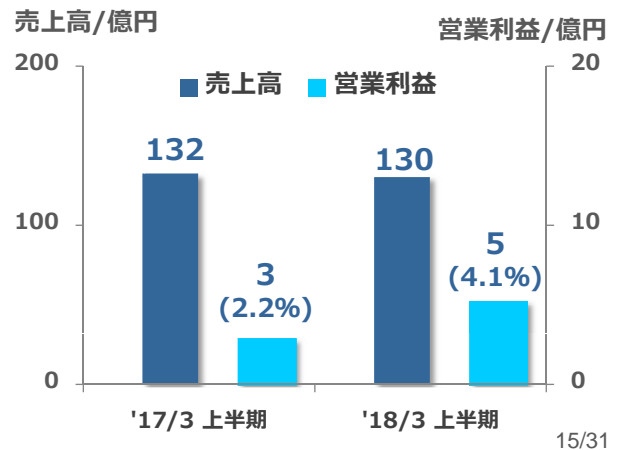


II-B 事業別の業績 印刷機器事業

- 減収、増益
- 国内は大型印刷機の受注増
- 海外は欧米向け輸出は増加したが、中国を含むアジア向けの減少が大きく、全体で減収
- 展示会等販促費用の減少などで増益

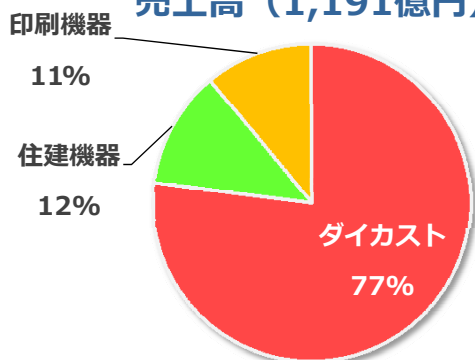


売上高/営業利益 (率)

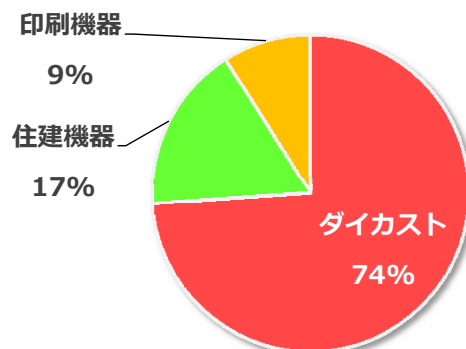


II-B 事業別の業績 '18/3期上半期 事業別構成比

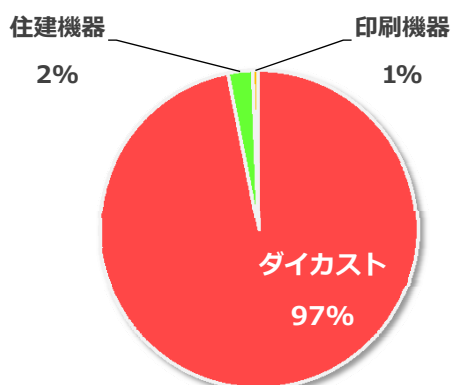
売上高 (1,191億円)



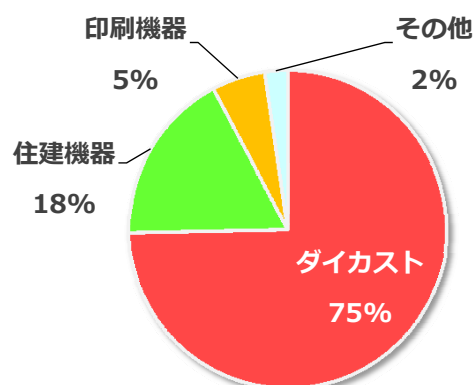
営業利益 (61億円)



設備投資 (93億円)



社員数 (9,084人)



Ⅲ. 2018年3月期 連結業績予想

17/31

Ⅲ-A 連結業績予想

増収・増益（営業利益、経常利益）

単位：億円
 () 内は売上高利益率
 [] 内は増減率

	'17/3期 実績	'18/3期 予想	増減	増減理由
売上高	2,405	2,440	35 [1.5%]	パワーツール事業譲渡の減少影響はあるものの、ダイカスト事業の国内、中国の売上が伸張り増収
営業利益	119 (4.9%)	128 (5.2%)	9 [7.8%]	ダイカスト事業の増収により増益
経常利益	120 (5.0%)	128 (5.2%)	8 [6.5%]	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	83 (3.5%)	83 (3.4%)	-0 [-0.6%]	
配当	10円	*10円	-	

* '17年10月1日付で5株を1株とする株式併合を実施しているが、その影響を考慮しなかった場合の1株当たり配当金

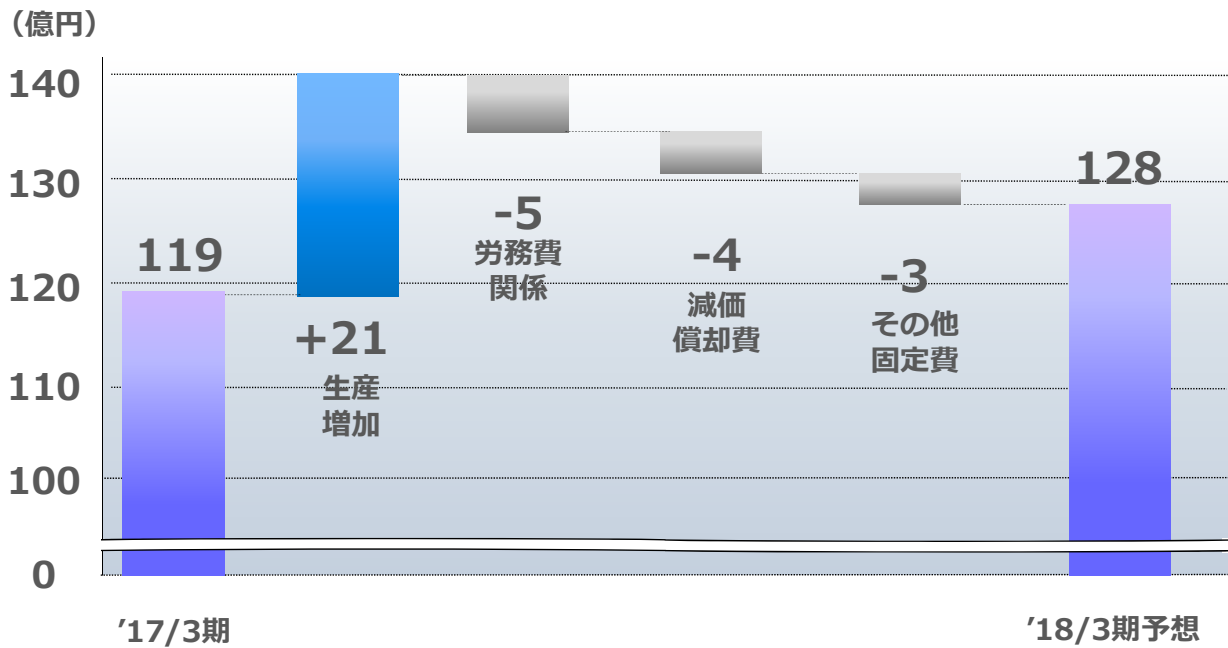
為替レート	(期中平均)	(想定レート)	(増減)
米ドル	109円	110円	1円
英ポンド	150円	145円	-5円
中国元	16.5円	17.0円	0.5円
タイバーツ	3.1円	3.2円	0.1円

〔 1%円高に変動した場合の
年間の営業利益影響額 〕

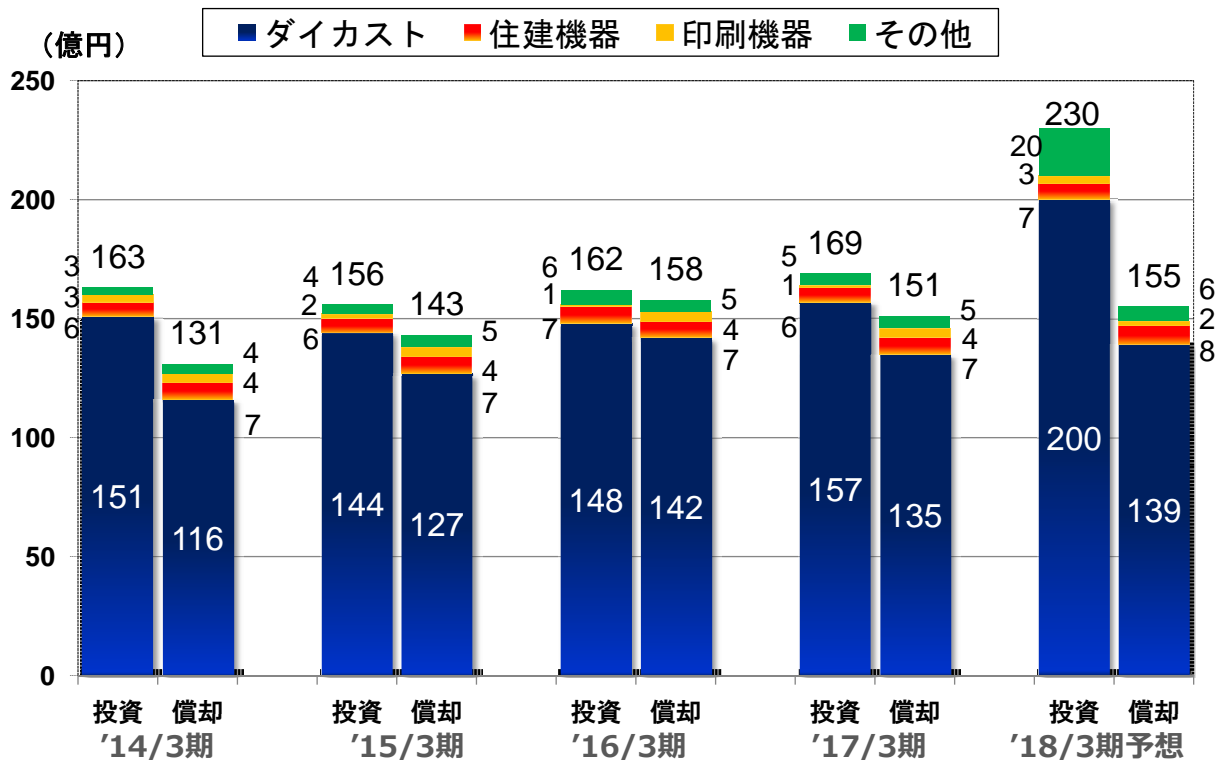
米ドル -60百万円
 英ポンド -10百万円
 中国元 +40百万円

18/31

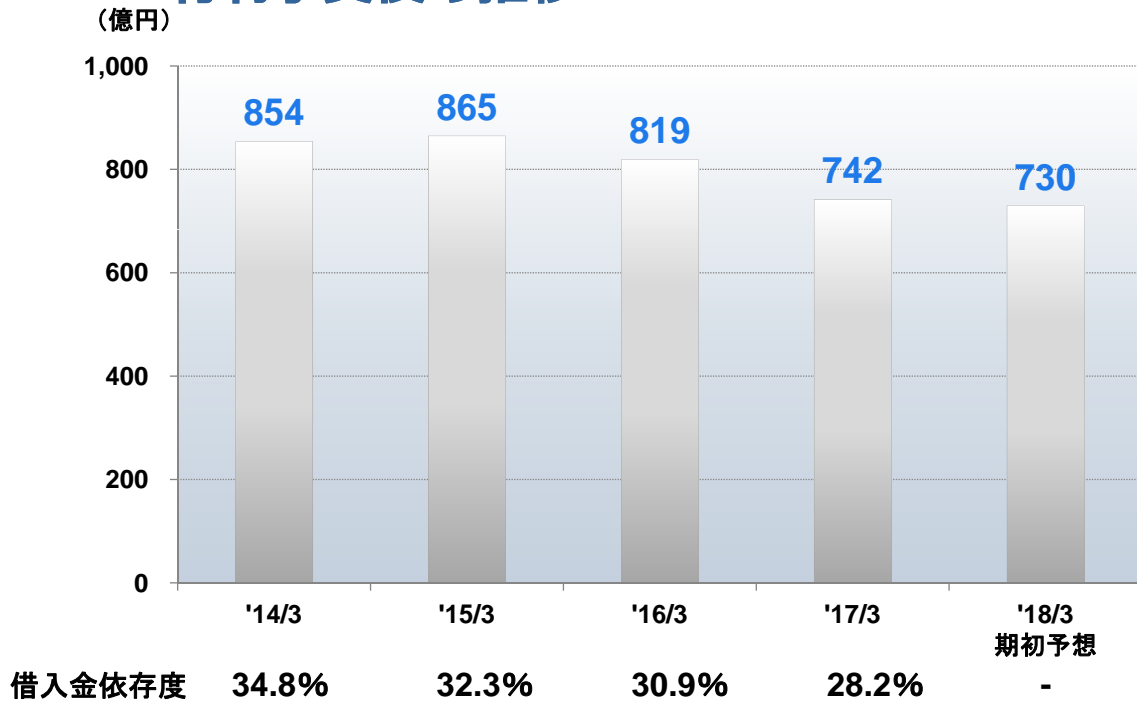
Ⅲ-A 連結業績予想 営業利益増減要因('17/3期比)



Ⅲ-A 連結業績予想 設備投資・減価償却費の推移



Ⅲ-A 連結業績予想 有利子負債の推移



<注>借入依存度 = 有利子負債 / 総資産

21/31

Ⅲ-B 事業別の状況

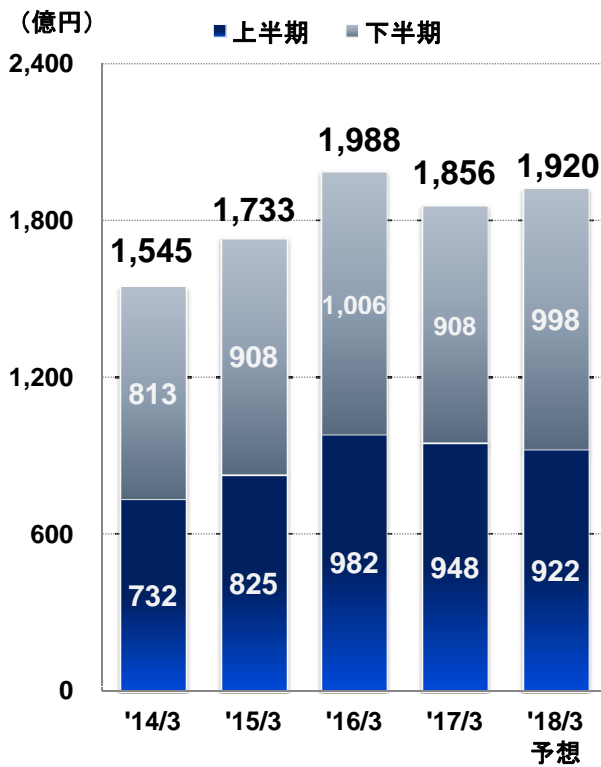
単位：億円
() 内は売上高利益率
[]内は増減率

		'17/3期実績	'18/3期予想	増減	見通しのポイント
ダイカスト	売上高	1,856	1,920	64 [3.4%]	国内や中国事業(子会社2社)の売上高が伸張り増収 主に海外の生産性が良化し増益
	営業利益	90 (4.9%)	100 (5.2%)	10 [10.8%]	
住建機器	売上高	262	240	-22 [-8.3%]	パワーツール事業譲渡の影響で減収 元安の影響もあり、利益率改善
	営業利益	15 (5.6%)	15 (6.3%)	0 [2.2%]	
印刷機器	売上高	285	280	-5 [-1.6%]	北米、南米向けは増加するものの、欧州、大洋州向け減少により、全体では減収
	営業利益	14 (4.8%)	13 (4.6%)	-1 [-4.3%]	

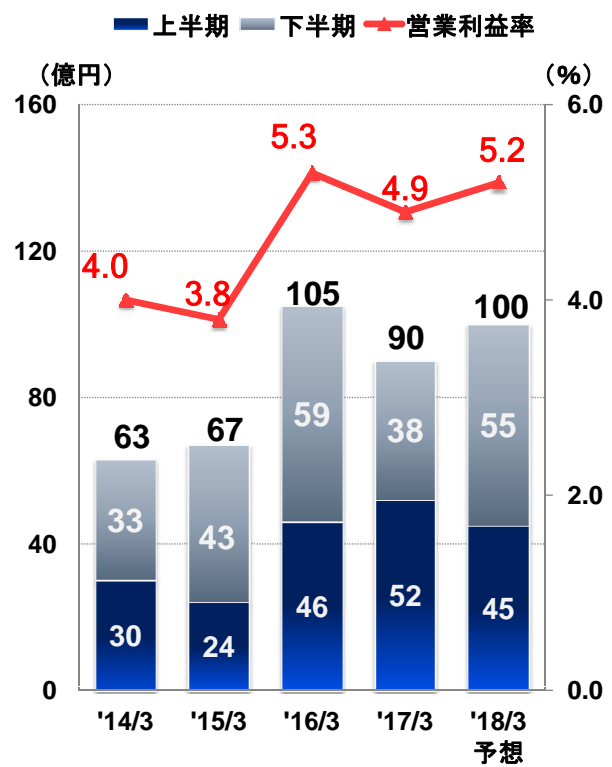
22/31

Ⅲ-B 事業別の状況 **ダイカスト事業**

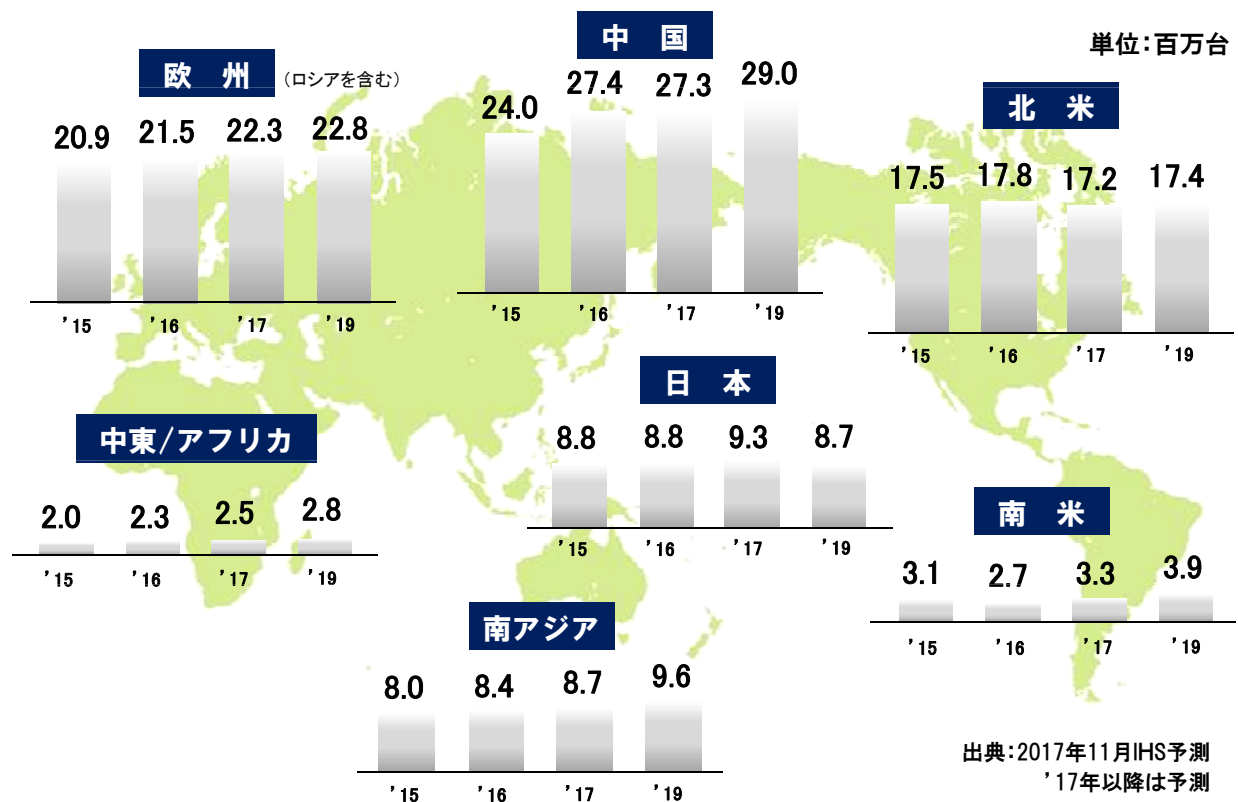
売上高の推移



営業利益・売上高営業利益率の推移

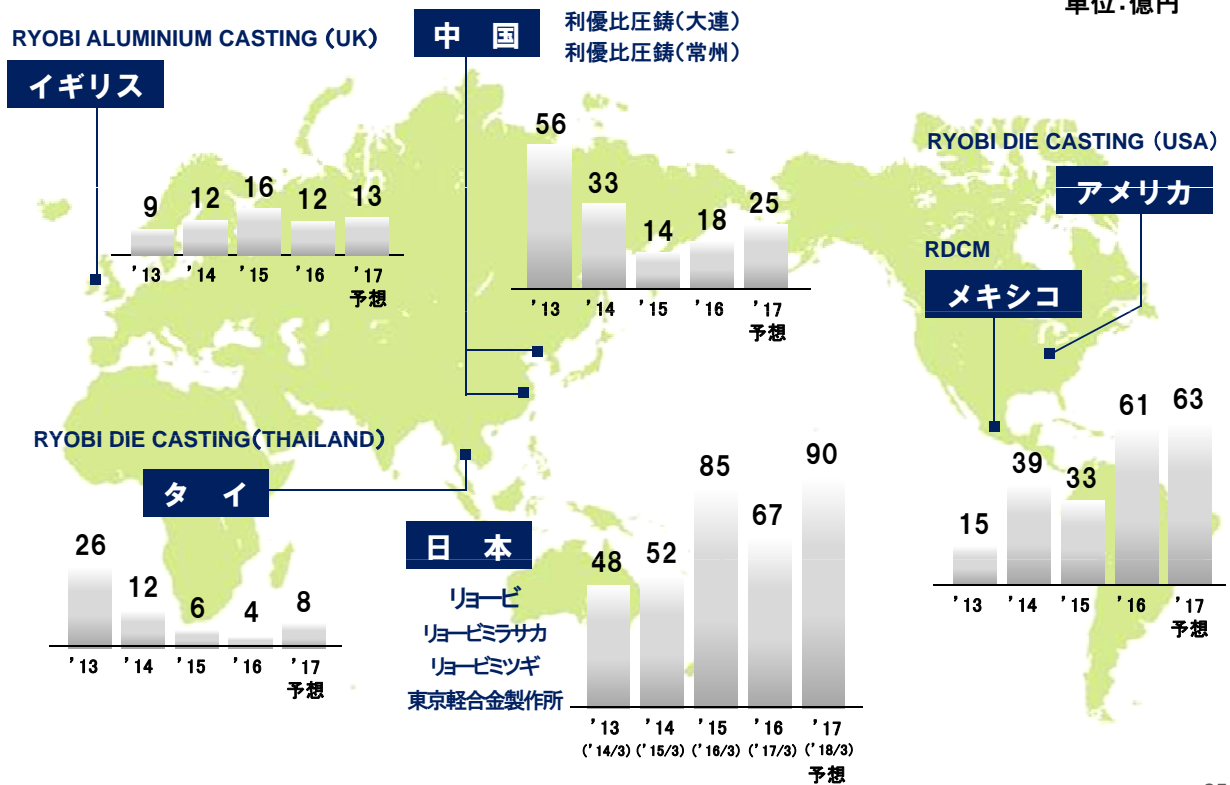


Ⅲ-B 事業別の状況 **ダイカスト事業** **世界の自動車生産の予測**



Ⅲ-B 事業別の状況 ダイカスト事業 地域別設備投資の推移

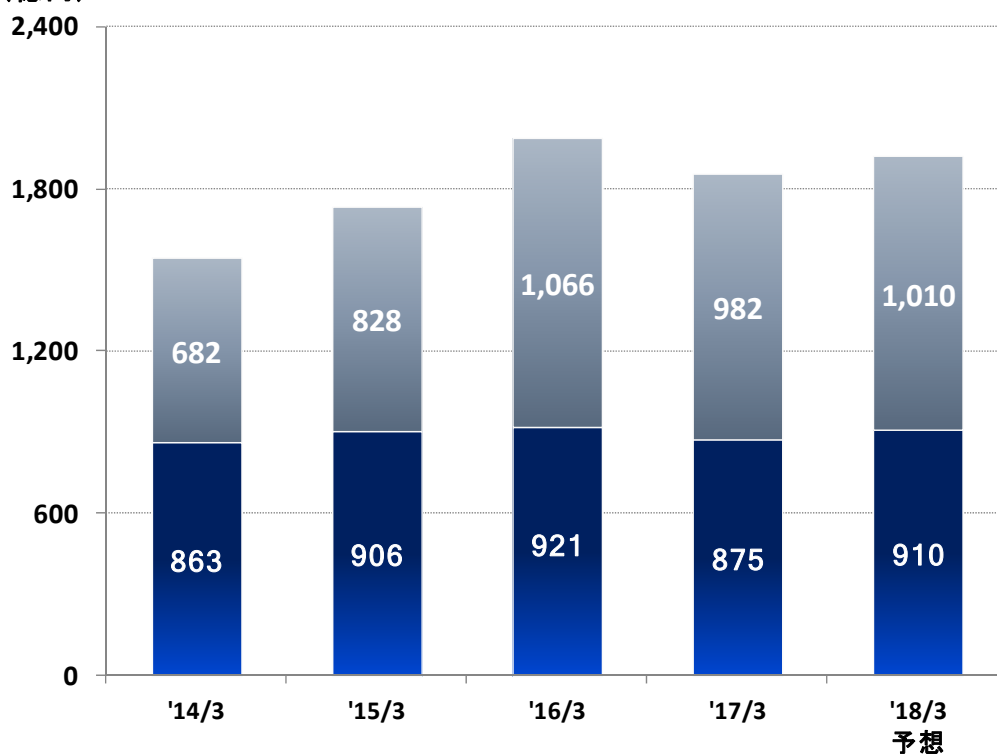
単位: 億円



25/31

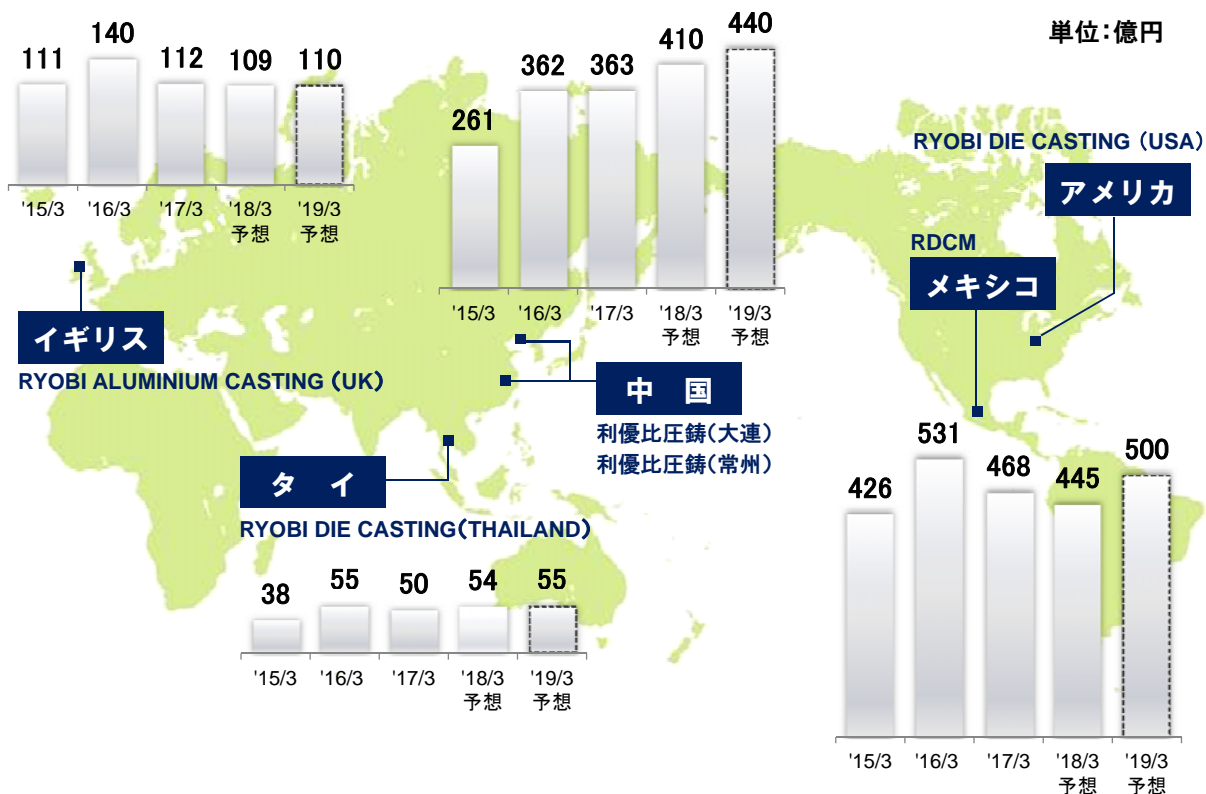
Ⅲ-B 事業別の状況 ダイカスト事業 国内・海外売上高の推移

(億円)



26/31

Ⅲ-B 事業別の状況 ダイカスト事業 海外地域別売上高の推移



27/31

Ⅲ-B 事業別の状況 ダイカスト事業 お得意先の取引状況

売上高順位（'18/3期 第2四半期）と地域別納入実績

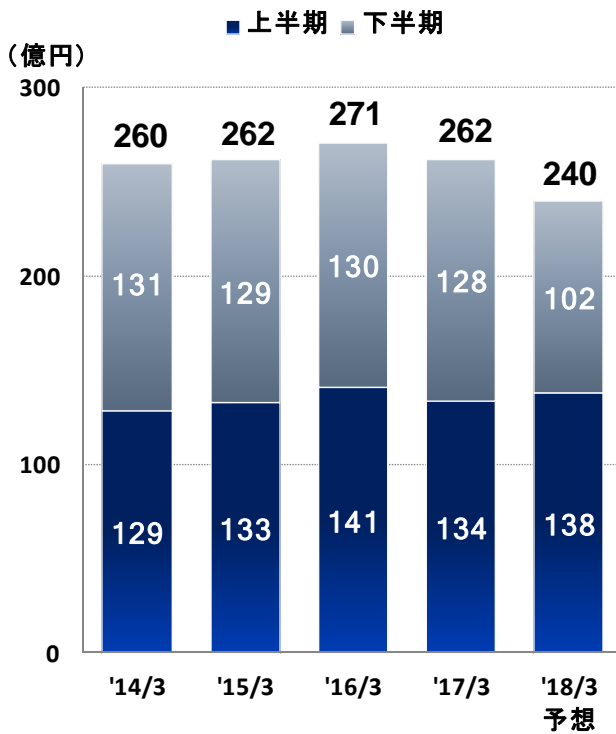
順位	お得意先	日本	北米	欧州	中国	東南アジア	その他
1	ゼネラルモーターズ		✓	✓	✓		
2	SUBARU	✓					
3	フォード・モーター		✓	✓			
4	フォルクスワーゲン			✓	✓		
5	ジヤトコ	✓	✓		✓	✓	
6	アイシン・エイ・ダブリュ	✓			✓		
7	本田技研工業	✓	✓		✓	✓	
8	三菱自動車工業	✓			✓	✓	
9	スズキ	✓				✓	
10	日産自動車	✓			✓	✓	

(注) お得意先の工場が存在する地域で、ダイカスト製品の納入実績がある地域に✓点を付けている。
(当社拠点からの直接・間接輸出分を除く)

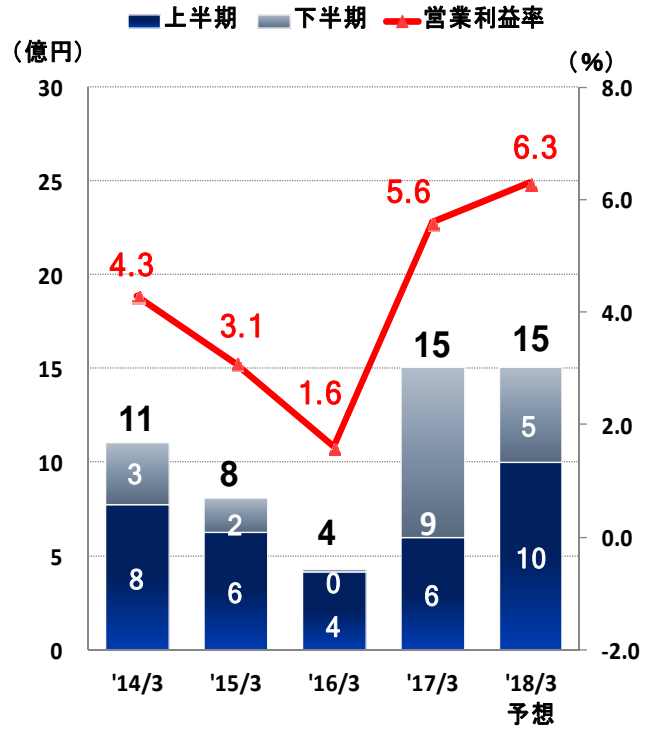
28/31

Ⅲ-B 事業別の状況 住建機器事業

売上高の推移



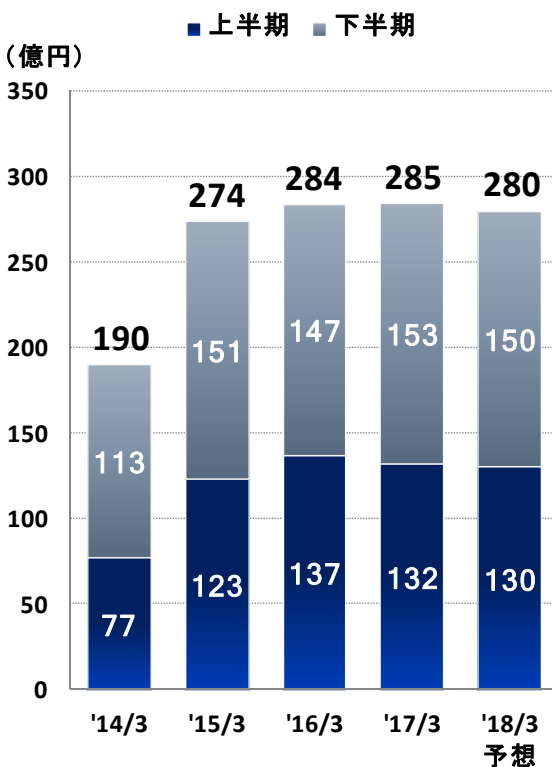
営業利益・売上高営業利益率の推移



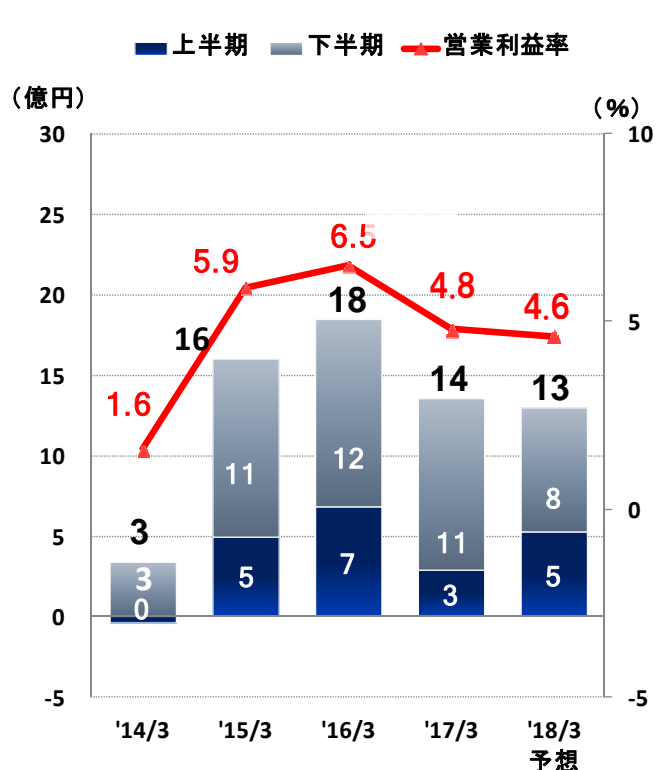
29/31

Ⅲ-B 事業別の状況 印刷機器事業

売上高の推移



営業利益・売上高営業利益率の推移



30/31

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。